

平成29年度

# 三種町農業人材育成事業報告

本事業は、農業の中核となるべき農業者の方がたが、先進農業地の優れた農家から、マーケティング、生産技術等を体得することを目的に研修補助を行っています。

## ● 視察研修報告

三浦久美子

私たちドラゴンフレッシュセンター「まごころの会」は先進地研修として青森県を訪問しました。

1日目の視察は、青森県平川市の「産直センターひらか」でした。店内は、JAの資材売場と農産物が一体化された売場でした。JAの商品と、産直の商品は区別して販売され、従業員など管理はすべてJAとこのことでした。



◆視察研修報告書  
団体：ドラゴンフレッシュセンター「まごころの会」  
研修月日：平成30年1月24日～25日  
研修地：青森県平川市「産直センターひらか」  
おいらせ町「観光農園アグリのリおいらせ」

2日目はおいらせ町の「観光農園アグリのリおいらせ」の視察でした。ここは天然温泉の地熱活用のハウス施設でした。熱帯果樹園では、バナナ、パイナップル、パッションフルーツ、又、1200坪の連棟ハウスでは、真赤ないちごは、実を付けていました。直売所で販売、お菓子、レストランなどに使用とのことでした。

三種町にも立派な温泉があるので、冬の間のお客様の呼び込みなどで活用できたらいいと思いました。今後の私たちの活動の参考になる有意義な研修でした。

## ● 青森産直視察について

岩谷 敬子

「産直センターひらか」は会員152名。事務関係含め、農協が運営しています。

店舗の特徴は、地元産の野菜の提供にこだわっていることです。大根、白菜、キャベツなどはトラックで運んで来ても1日で全部売り切る程の人気があります。その他、花（会員30名）、加工、手芸、果物と5品物があ

## ● 研修を終えて

及位由美子

最初に視察した「産直センターひらか」は平成16年に開設。14年目を迎える今、売上げは2億7千万円との事。主力は、リンゴやくだもの、南八甲田の高原野菜ですが、花にも力を入れており、たくさんの種類がお店に並んでいて、とても華やかでした。

また、津軽の桃がおいしいと聞き、



り、業者用のコーナーもありました。「観光農園アグリのリおいらせ」は、体験型総合観光農園で、「見る、収穫、食べる、ふれあいを」テーマとして、お年寄りや障がいのある方にも利用しやすい、地域、福祉、農業、観光を合わせた活動をしていました。



早速桃のシロップ漬けと桃のソフトを購入。ほんのり桃の味はおいしく、きつとりピーターが増えるだろうと思えました。

2日間いろんな体験や視察が出来て、とても有意義な2日間でした。

## ● 直売視察研修に参加して

畠山 好子

「産直センターひらか」では、説明に、皆メモを取りながら意見交換し、大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。また、大根の売りも、トラック一台持つてきても一日で捌けるとの事、驚きと共に勉強になりました。

「アグリのリおいらせ」では、ハウスでバナナやパイナップルなどのくだものを育てたり、特にいちご作りはすばらしかったです。ハウスは何棟も有り感動しました。ハウスのお蔭で冬場のお客も絶えないとか、この直売も伸ばせる所は手を抜かず、力を注げばいいのではないかと悟りました。とても有意義な2日間でした。